

2年 音楽の課題 4月30日～

<p>音楽の教科書 2上 大切なもの p70-71</p> <p>校歌 (学校HPの <u>学校紹介</u>の <u>校歌・校章</u> ページ参照)</p>	<p>①ソプラノのメロディーを歌詞で毎日歌う。 ・男子は高音と感じる音を下げてもよい。</p> <p>②「大切なものに気づかないぼくがいた」という歌詞の「大切なもの」とは何を表しているのか、今の自分たちの現状と照らし合わせて、100文字以上でA4の紙(A4サイズであればなんでも可)にまとめる(初回の授業内提出)</p> <p>③校歌を毎日歌う。</p>	<p>○歌えない、音程が取れない場合は、久寺家中ホームページの<u>特設合唱部</u>のページにある<u>2年 大切なもの.MOV 校歌.MOV</u>を見ながら、一緒に歌いましょう。 (<u>ダウンロードに時間がかかります</u>が、メロディーのみ歌っています。)</p> <p>○コーラス プラス チャンネルの「大切なもの」 https://youtu.be/By36k6Uxk7kを参考に自宅で一緒に歌ってみてください。 (歌う時間帯はあまり遅い時間にならないように、気をつけましょう!)</p>	<p>○授業中、鑑賞教材として聴き、音程やそれぞれの描いた「大切なもの」の情景を確認します。</p> <p>○6月以降に1人ずつ斉唱で録音し、強弱や速度の変化、歌い方のポイントを追加指導していきます。(テストは何番歌うかは当日発表します。)</p> <p>○<u>確認で次のページのミニテストを行い、学校再開時に提出</u>しましょう。</p>
---	---	--	--

※音楽の提出課題の例を別の曲を使って書きました。下記を参考に「大切なもの」で書いてみましょう。

【題名】 あすという日が

【2年7組40番 白井亮子】

【歌の背景】 この歌は、あすには必ず「幸せがあると信じて」生きようと歌う人生の応援歌である。

私たちは今、コロナウィルスの影響で「あす」が見えない生活を送っている。けれどこの曲の歌詞にある「青空に手をのばす細い枝」や「ふまれてもなおのびる道の草」のように、私たちはこのような状況においてどれだけ弱い存在であっても、今を「一生けんめい生きること」こそが、本当に大切なことなのだと私は思う。

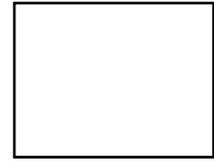
1番の歌詞ではあすという日が「あるかぎり」と歌っているが、2番では「くるかぎり」と方向性が自分に向かっている。ここでは、希望があるあすが私たちに向かってくるように感じると同時に、だからこそあすにまだ悲しみや苦しみが続いている、それら全てが未来(あす)の「幸せ」に繋がっていると「信じる」ことが非常に大事であると伝えていると私は考える。

この歌を歌うときに気をつけたい点は「なんて なんて なんてすばらしい」と女声と男声がかげ合いながら盛り上がる箇所である。ここでは3回「なんて」と語りかけているので、1回1回クレッシェンドしていき、サビの歌詞がフォルテではっきりと歌い始められるように、美しく盛り上げて歌いあげたい。

《音楽2年生 ミニテスト》

名前 _____

空にひかる (①) を
君とかぞえた (②)
あの日も 今日のような (③) が吹いていた

 / 30点

あれから いくつもの (④) こえて
(⑤) を過ごし
それでも あの (⑥) を
ずっと忘れることはない

＜解答欄＞ 1問2点

＜ ☆ ＞に 気づかないぼくがいた
今 胸の中にある あたたかい この気持ち

1	
2	
3①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	

くじけそうな時は (⑦) をこらえて
あの日 歌っていた歌を思い出す

(⑧) (⑨)
そんな声が聞こえてくる
ほんとに 強い気持ち
(⑩) を教えてくれた

いつか会えたなら (⑪) って言いたい
遠く離れてる君に (⑫) ぼくがいると

＜ ☆ ＞に 気づかないぼくがいた
(⑬) じゃないこと 君が教えてくれた
＜ ☆ ＞を.....

＜問題＞

- 1、 ＜ ☆ ＞に入る、上記の曲の題名を答えなさい。
- 2、 この曲の作詞・作曲者を答えなさい。
- 3、 ①～⑬に入る歌詞を答えなさい。